

衆議院愛媛第3選挙区総支部長に  
越智きよすみを選任!



# お ち 越智きよすみ

立憲民主党 立憲民主編集部  
〒102-0093 東京都千代田区永田町 1-11-1 三宅坂ビル 7F  
Tel. 03-3595-9988 Fax. 03-3595-9088

立憲民主党愛媛県総支部連合会  
〒790-0067 愛媛県松山市大手町 1丁目 1-6  
Tel. 089-947-8522

## 政権交代で日本を変える

ご挨拶

### なぜ医師・研究者から政治家に？

それは、国際社会で日本の学術研究が低迷している現状を皆さんにお伝えしたかったからです。かつては科学技術立国として世界から称賛された日本ですが、文部科学省が公表した「科学技術指標2024」において、研究開発の成果を示す指標となる注目度の高い論文数(「トップ10%論文数」の国別順位)では、1位中国、2位アメリカ、日本は過去最低となった昨年と同じ13位となっています。2025年版のQS世界大学ランキングでは、日本トップの東京大学でも世界のトップ30から脱落しています。わたしが今年6月まで研究留学していたアメリカの研究機関でも、日本人研究者が資金獲得競争に敗れて経済的に困窮し次第に挫折していきなかに、中国人研究者は母国からの積極的な研究開発費の投入と経済的支援を背景に国際的に活躍している姿を目の当たりにしました。つまり、日本人研究者の能力が低下したのではなく、十分に能力を発揮できない制度に原因があることがわかりました。1990年代のバブル崩壊後の低迷する日本経済は「失われた30年」と呼ばれていますが、2000年初頭からの日本の研究力の低迷も「失われた20年」と表現されます。日本の学術政策はすでに危機的な状況にあると言っても過言ではありません。そんな日本を、政治家としての立場から再び科学技術立国として世界に貢献できる国にしたいと考えています。

### 越智きよすみ プロフィール

立憲民主党 愛媛県第3区総支部 総支部長

◆1982年(昭和57年) 6月28日生まれ(42歳) ◆愛媛県出身 ◆医師・医学博士

**学歴**  
1995年(平成7年)3月 今治市立美須賀小学校 卒業  
1998年(平成10年)3月 今治市立美須賀中学校 卒業  
2001年(平成13年)3月 愛媛県立今治西高等学校普通科 卒業  
2008年(平成20年)3月 宮崎大学医学部医学科 卒業  
2014年(平成26年)3月 東京大学大学院医学系研究科病因・病理学専攻(医学博士課程)修了

**主な経歴**  
東京大学医科学研究所 客員研究員  
2023年(令和5年)8月~2024年(令和6年)9月  
ハーバード大学メディカルスクール  
マサチューセッツ総合病院 リサーチフェロー  
2023年(令和5年)8月~2024年(令和6年)6月

**免許資格**  
2008年(平成20年) 医師免許証(医籍登録番号 第469637号) 2017年(平成29年) 日本血液学会血液専門医 取得  
2015年(平成27年) 日本内科学会認定内科医 取得 2021年(令和3年) 日本血液学会血液指導医 取得

立憲民主党は、「予算配分はカネ次第」という「古い政治」を大転換し、まっとうな政治を取り戻します。

#### 本気の政治改革 実現に向けて

政治とカネの問題に対する  
立憲民主党の考え方

#### 政治家本人の処罰強化

- ▶ いわゆる「連座制」の導入
- ▶ 150万円以上の不記載は過失でも処罰

#### 政治資金の透明性の確保

- ▶ 収支報告書のデジタル化、どこでも誰でも検索可能に
- ▶ 政治資金の外部監査を強化し、支出だけでなく収入も監査
- ▶ 政策活動費は禁止

#### 企業・団体献金、政治資金パーティーの禁止

- ▶ 政治・政策決定をゆがめる企業・団体からの寄附を禁止
- ▶ 政治資金パーティーは全面禁止
- ▶ 個人の寄附への税額控除を抜本拡充

# 政策 1 へき地・離島における持続可能な地域医療提供体制の実現

愛媛県には、医療の確保が困難な「へき地」が存在するとともに、36の有人島があります。このような地域には、ICT(情報通信技術)を用いた遠隔診療やAI(人工知能)による診療支援システムを導入することで、医師不足や地域間偏在の問題を解消できる可能性があります。また、南海トラフ地震のような巨大災害発生を想定した災害医療対策に取り組みます。「誰一人取り残さない」持続可能な地域医療提供体制を実現させます。

- ICT(情報通信技術)・AI(人工知能)を駆使した地域医療の展開
- 地域医療情報連携ネットワークの拡充
- 医師の働き方改革・医療従事者の勤務環境の改善
- 南海トラフ地震を想定した災害医療対策



# 政策 2 北里柴三郎の志を受け継ぎ、低迷する日本の学術研究を再び世界レベルに

新千円札の肖像画に採用された北里柴三郎は、わたしが客員研究員を務めていた東京大学医科学研究所の前身である私立伝染病研究所の創業者兼初代所長です。北里は、破傷風ワクチンの開発に取り組み、その後のワクチン開発にも大きな影響を与えました。しかしながら、新型コロナウイルスに対するワクチン開発において日本は自国開発が大きく遅れました。日本の製薬会社にはワクチン開発の基盤がなく、国も積極的に支援してこなかった背景があります。研究投資額の不足や、研究者の研究環境の不備・経済支援の欠如など、国の学術政策においても多くの課題があることが浮き彫りとなりました。日本が再び科学技術立国として世界に貢献できるように、科学技術・イノベーション政策に取り組みます。

- 国の科学研究費倍増
- 研究者の安定的な雇用や研究環境を整備
- 大学運営費交付金の増額・ポスドクを含む研究者や大学院生の処遇改善
- 科学技術・イノベーション政策の推進



# 政策 3 子どもの視点に立った子ども・子育て政策の推進

これまでの少子化対策は、経済成長や社会保障制度を維持するために子どもの数を増やすことに偏重し、子どもの生活の質を向上させるという観点が軽視されてきました。本来の少子化対策とは、子どもを政策対象の中心に据え、子どもにとって良好な生育環境を築き上げることが重要です。これからの未来を担う子どもたちは、まさに地域の主人公です。彼らが成長し、地域社会に貢献できるように、わたしたち全員でその成長を支え、育てていくことが大切だと考えています。

- 妊娠・出産・子育てに関連した経済的支援
- ヤングケアラーとその家族への支援
- 児童虐待防止対策・いじめ問題への対応
- 障がいを持つ子どもたちへの包括的な教育支援



※写真はイメージです



連絡先 **越智きよすみ後援会事務所**

〒799-3113 愛媛県伊予市米湊600番地1 フォルテKido 1階南側テナント

TEL.070-8429-3594 [ochi.kiyosumi@gmail.com](mailto:ochi.kiyosumi@gmail.com)

<https://ochi.ehime.jp/>

越智きよすみ

検索



LINE



X (旧Twitter)